

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	長野短期大学
設置者名	学校法人 長聖

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
	食物栄養学科	夜・通信		0	14	14	7	
		夜・通信						
	幼児教育学科	夜・通信		0	10	10	7	
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.naganojc.ac.jp/about/info/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長野短期大学
設置者名	学校法人 長聖

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.naganojc.ac.jp/about/info/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
畔上 一康 常 勤	学校法人 長聖 長野短期大学長	令和7年5月28日～4 年以内に終了する会 計年度の最終定時評 議員会終結の時まで	教学担当
富山 泰 非常勤	寿製薬株式会社 代表取締役社長	令和7年5月28日～4 年以内に終了する会 計年度の最終定時評 議員会終結の時まで	財務担当
小林 経明 非常勤	学校法人 信学会 理事長	令和7年5月28日～4 年以内に終了する会 計年度の最終定時評 議員会終結の時まで	労務担当
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野短期大学
設置者名	学校法人長聖

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
1. シラバスの作成過程 (1)シラバスの作成は教務委員会が中心となっていて行っている。 (2)教務委員会で作成した統一様式で実施している。 (3)12 月～1 月、次年度の教員確定後、全教員にシラバスの原稿作成を依頼し、授業開始年度前の 3 月末までに完成させている。 2. シラバスの作成・公表時期 (1)シラバス記載項目は、科目名、ナンバリング、担当者名、授業の種類(講義・演習・実験実習実技)、単位数、開講時期、卒業必修、資格毎の必修科目、授業内容、到達目標、授業計画、成績評価方法、評価基準、評価の割合、教科書・参考書、準備学習、課題等に対するフィードバック、準備学習(予習・復習等)に必要な時間、その他留意事項、実務経験と授業内容の関連等である。 (2)シラバスは 4 月初旬にホームページにて公表し、全学生及び全教職員が閲覧できるようにし、学生には、オリエンテーション、受講登録等で有効に活用するよう指導している。	
授業計画書の公表方法	https://www.naganojc.ac.jp/info/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
(1)授業科目担当教員は、学則 第 10 条、第 11 条、第 12 条、及び学生便覧に記載してある「成績の評価」「成績の評価に関する規定」に則り、各学生の学修成果を基に、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準・評価の割合により、厳格かつ適正に成績を評価し、単位を授与している。 (2)成績評価の方法(筆記試験、レポート、授業参加態度等)・基準・評価の割合はシラバスに記載することにより、あらかじめ学生に示している。 (3)成績評価については、「秀・優・良・可・不可」と表示し、「可」以上を合格とする。「不可」は不合格とし、単位は認定されない。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

1. 客観的な指標の設定・公表

- (1) 成績評価において GPA 制度の導入を、学生便覧の「成績の評価」に記載し、GPA の算出方法等を明記し、ホームページに公表している。
- (2) 本学入学前に他大学で修得した単位認定科目を除くすべての授業科目が GPA の対象となる。
- (3) 成績の評価を秀(S)、優(A)、良(B)、可(C)、不可(D)の5段階として、それぞれの段階に対し、4から0までのGPを付与する。(表1)

表1 成績評価と GP

点数	成績評価	GP
90～100	秀(S)	4
80～90 未満	優(A)	3
70～80 未満	良(B)	2
60～70 未満	可(C)	1
60 未満	不可(D)	0

GPA の算出方法

- 1) 授業科目ごとの成績に応じて、5段階で評価する。
- 2) それぞれの段階に対して4から0までのGPを付与する。
- 3) GPA の算出式に代入して、GPA を求める。

GPA 算出式

$$\text{GPA} = \frac{\text{秀の総単位数} \times 4 + \text{優の総単位数} \times 3 + \text{良の総単位数} \times 2 + \text{可の総単位数} \times 1 + \text{不可の数}}{\text{履修科目の総単位数}}$$

2. 成績の分布状況の把握と適切な実施

- (1) 成績の分布状況を、GPAにより各期（前期・後期）および通算（1年次・2年次）で算出し成績の分布状況を把握している。
- (2) GPA は、成績評価と学習指導・教育支援に活用している。
- (3) 各期の GPA が低い学生には個別指導・支援を行っている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.naganojc.ac.jp/about/info/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 建学の精神「配慮ある愛の実践」に基づき、学位授与の方針を次のとおり定めている。 1) 卒業の認定に関する方針 <食物栄養学科> 本学の食物栄養学科に2年以上在籍し、所定の単位を修得した学生は、以下の到達目標に達した者であると認定し、卒業と同時に「短期大学士」の学位を授与する。 (1) 豊かな人間性を持ち、幅広い教養と社会人としてのマナーを兼ね備えている。 (2) 食の専門家としての責任感と倫理観を持って、社会に貢献できる専門知識と技能を身につけている。 (3) 多様な課題に対して主体的に考え、コミュニケーションを図りながら協働して活動する態度を身につけている。 <幼児教育学科> 本学の幼児教育学科に2年以上在籍し、所定の単位を修得した学生は、以下の到達目標に達した者であると認定し、卒業と同時に「短期大学士」の学位を授与する。 (1) 情報リテラシーや言葉による表現力と幅広い教養及び自らを育て自立を図るために必要な能力を修得している。 (2) 教育の原理と基本概念や教育事象に関する知識及び教育現場で必要となる専門的な知識と技術を修得している。 (3) 各領域や保育等の指導内容や指導方法及びその基盤となる専門領域に関する知識や方法と技能を修得している。 (4) 理論に基づいた総合的な実践方法と応用能力及び実践活動に主体的かつ創造的に取り組む態度を修得している。 2) 卒業の認定に関する方針の適切な実施状況 学則第9条、10条、11条、12条に則り卒業を認定し、学位を授与している。それぞれの認定にあたっては、学生の修得単位数等を踏まえ、成績会議(教授会)により認定している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.naganojc.ac.jp/about/info/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	長野短期大学
設置者名	学校法人長聖

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.naganojc.ac.jp/about/info/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.naganojc.ac.jp/about/accreditation/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.naganojc.ac.jp/about/accreditation/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名：食物栄養学科、幼児教育学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.naganojc.ac.jp/about/info/ ）
（概要） 建学の精神「配慮ある愛の実践」を根底に据え、「心豊かな人間の育成」を教育理念として、学則第 1 条に学科毎に教育研究上の目的を掲載している。 ＜学則＞ 第 1 条 本学は、教育基本法・学校教育法に則り、広い教養と専門的学芸を教授研究し、豊かな人間性と専門的スキルを修得させ、個性の伸長をはかり、国家社会の有為な人材を育成することを目的とする。 2 食物栄養学科は、豊かな人間性と専門性をもつ栄養士の育成を主たる目的とする。 3 幼児教育学科は、豊かな人間性と専門性をもつ保育士並びに幼稚園教諭の育成を主たる目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法： https://www.naganojc.ac.jp/about/info/ ）
（概要） 卒業の認定に関する方針 ＜食物栄養学科＞ 本学の食物栄養学科に 2 年以上在籍し、所定の単位を修得した学生は、以下の到達目標に達した者であると認定し、卒業と同時に「短期大学士」の学位を授与する。 (1) 豊かな人間性を持ち、幅広い教養と社会人としてのマナーを兼ね備えている。 (2) 食の専門家としての責任感と倫理観を持って、社会に貢献できる専門知識と技能を身につけている。 (3) 多様な課題に対して主体的に考え、コミュニケーションを図りながら協働して活動する態度を身につけている。 ＜幼児教育学科＞ 本学の幼児教育学科に 2 年以上在籍し、所定の単位を修得した学生は、以下の到達目標に達した者であると認定し、卒業と同時に「短期大学士」の学位を授与する。 (1) 情報リテラシーや言葉による表現力と幅広い教養及び自らを育て自立を図るために必要な能力を修得している。 (2) 教育の原理と基本概念や教育事象に関する知識及び教育現場で必要となる専門的な知識と技術を修得している。 (3) 各領域や保育等の指導内容や指導方法及びその基盤となる専門領域に関する知識や方法と技能を修得している。 (4) 理論に基づいた総合的な実践方法と応用能力及び実践活動に主体的かつ創造的に取り組む態度を修得している

教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.naganojc.ac.jp/about/info/) (概要) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） ＜食物栄養学科＞ 本学の食物栄養学科が掲げる教育目標を達成するため、以下の教育課程を編成する。更に栄養士、フードスペシャリスト、健康管理士一般指導員、きのこマイスターの資格が取得できるように教育課程を編成する。 (1) 豊かな人間性、および幅広い教養を身につけるために、多様な分野から教養科目を設置する。 (2) 専門知識を身につけ、自ら考えて行動できる力をつけるために、以下の専門分野について学べる教育課程を編成する。 ①社会生活と健康 ②人体の構造と機能 ③食品と衛生 ④栄養と健康 ⑤栄養の指導 ⑥給食の運営 (3) 講義、実験、実習、演習など、多様な授業形態で理論、技能および実践を学修する。 (4) 適性に合わせて学修計画を立ててキャリアを選択できるよう、4つの資格（栄養士、フードスペシャリスト、健康管理士一般指導員、きのこマイスター）取得に必要な科目を配置する。 (5) 表現力、思考力、コミュニケーション能力などを実践的に学ぶ地域に密着したカリキュラムを設置する。 ＜幼児教育学科＞ 本学の幼児教育学科が掲げる教育目標を達成するため、以下の教育課程を編成する。更に幼稚園教諭二種免許状、保育士資格が取得できるように教育課程を編成する。 (1) 豊かな人間性、および幅広い教養を身につけるために、多様な分野から教養科目を設置する。 (2) 専門知識を身につけ、自ら考えて行動できる力をつけるために、以下の専門分野について学べる教育課程を編成する『専門基礎科目』、「専門基幹科目」、『専門展開科目』、「専門関連科目」及び「専門実習科目」の5つの科目区分を設定。 (3) 講義、実習、演習など、多様な授業形態で理論、技能および実践を学修する。 (4) 適性に合わせて学修計画を立ててキャリアを選択できるよう、資格取得に必要な科目を配置する。 (5) 表現力、思考力、コミュニケーション能力などを実践的に学ぶ地域に密着したカリキュラムを設置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.naganojc.ac.jp/about/info/） (概要) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） ＜食物栄養学科＞ 食物栄養学科の教育理念、教育目的、教育目標に共感する以下のような学生を求める。 (1) 高等学校卒業程度の基礎学力を有し、自分の考えを言葉・文章として表現できる人。 (2) 食を食べること、食事を作ること、食に関することに関心がある人。 (3) 他者と良好な関係を築くことができ、基本的な生活力を持っている人。 (4) 意欲的にコミュニケーションをとり、協働できる人。 (5) 食生活と健康に関する専門性を、職場、家庭、地域社会の中で役立てたいと思っている人。 (6) 栄養士資格取得を目標に勉学する意志がある人。

幼児教育学科の教育理念、教育目的、教育目標に共感する以下のような学生を求める。

(1) 幼児教育や保育に対する強い興味や関心と学科教育に対する学習意欲を有している人。【意欲・関心】

- (2) 幼児教育を学ぶために高等学校までの主要科目について、基礎的な知識と学力を有している人。【知識・技能】
- (3) 多様な価値観を正しく認識することで、自分の考えを適切に表現し、他者に対して的確に伝えられるコミュニケーション能力を備えた人。【表現・判断】

- (2) 幼児教育を学ぶために高等学校までの主要科目について、基礎的な知識と学力を有している人。【知識・技能】

- (3) 多様な価値観を正しく認識することで、自分の考えを適切に表現し、他者に対して的確に伝えられるコミュニケーション能力を備えた人。【表現・判断】

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.naganojc.ac.jp/about/info/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
食物栄養学科	－	2 人	2 人	2 人	1 人	4 人	11 人
幼児教育学科	－	2 人	2 人	2 人	人	人	6 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		25 人					25 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.naganojc.ac.jp/about/info/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
食物栄養学科	50 人	52 人	104%	100 人	99 人	99%	0 人	0 人
幼児教育学科	35 人	21 人	60%	85 人	37 人	44%	0 人	0 人
合 計	85 人	73 人	86%	185 人	136 人	74%	0 人	0 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児教育学科	10 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (100%)	人 (0%)
食物栄養学科	27 人 (100%)	0 人 (11%)	24 人 (89%)	人 (0%)
合計	37 人 (100%)	3 人 (8%)	34 人 (92%)	人 (0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
1. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関することについては、シラバス、時間割、カリキュラムマップ、履修モデルを作成し学生へ周知している。
2. シラバス記載項目は、科目名、ナンバリング、担当者名、授業の種類（講義・演習・実験実習実技）、単位数、開講時期、卒業必修、資格毎の必修科目、授業内容、到達目標、授業計画、成績評価方法、評価基準、評価の割合、教科書・参考書、準備学修、課題等に対するフィードバック、準備学習（予習・復習等）に必要な時間、その他留意事項、実務経験と授業内容の関連等である。
3. 受講登録、資格取得方法、校外実習の概要等を指導しているほか、年間行事予定表を配布して授業計画に役立たせている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関することに関して は、学科ごとに学生便覧の「履修上の基本事項」にて定めている。成績評価は「秀・優・ 良・可・不可」と表示し「可」以上を合格としている。評価認定は、各学期終了時に成績 会議を行い、最終的には学長の承認をもって成績および資格取得、卒業認定となる				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	食物栄養学科	62 単位	有・無	単位
	幼児教育学科	64 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.naganojc.ac.jp/about/info/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	食物栄養学科	560,000 円	200,000 円	380,000 円	
	幼児教育学科	560,000 円	200,000 円	380,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組	
(概要) 学生の学業(受講計画、資格取得等)に関しての相談、助言を行うために、チューター制 を設け、いつでも相談しやすい環境を整えている。学生が相談するのはチューターに限 らず、教務学生課や進路指導課、学科の教員にも気軽に相談できるようにしている。 相談場所としては、教員研究室のほか学生相談室を設け、学生の相談に応じたり、大学 生活を支援している。入学時及び新年度毎に、全学生を対象にオリエンテーションを実 施している。1年次生に対しては、入学式前にオリエンテーションとして「学生便覧」、 「授業概要」を活用し、授業登録、資格取得のために必要な単位取得、学則、教育課 程、学生生活の心得、2年次生に対しても上記の他、進路についてガイダンスを行って いる。	
b. 進路選択に係る支援に関する取組	
(概要) 進路指導課を主として、チューター、学科の教員と共に連携をとり、進路選択に係る支 援にあたっている。又、ハローワークの本学担当者や外部講師を招きガイダンスを行っ ている。進路サポートは、1年次に位置づけ、就職を目指す学生に対して、個別面談、 就職ガイダンス、就職講演会、自己分析、応募書類の書き方、面接指導をし、就職活動 をサポートしている。また、進学等の相談者についても適切なアドバイスをしている。	

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生の心身の健康管理については、毎年４月に全学生を対象に実施する健康診断の結果に対する学校医の指導・助言に基づき、該当学生に対して養護教諭免許を持つ学内教員が中心となり専門医への受診勧奨を指導している。又、チューター、学科内の教員及びハラスメント相談員が学生の“悩み相談”の窓口となり相談・指導を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.naganojc.ac.jp/about/info/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。